

南白小の未来をえがく！

令和 5 年 7 月 1 9 日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第 11 号

～子供たちの未来が明るくなるように～

算数で、根拠を明確にする

算数科における「数学的な見方・考え方」は、「事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的（**根拠を基に筋道を立てて考え**）、統合的・発展的に考えること」

本校では、「**根拠を明確にした学習**」を大事にしています。
そのためには、2つのことを大事にしています。

- ① **既習の内容が定着していること（根拠になる）**
- ② **自分の根拠を説明できること**

算数…1年生 ひき算(求差)

数の大きさの比べ方や数え方を知り、数の合成、分解（いくつといくつ）と学んできた1年生です。もうひき算を学習しています。1年生の1学期は特別な時期です。

求差のひき算の学習です。「こどものかず（6人）とあめのかず（9こ）のちがいはいくつですか？」という問題です。

子供たちは思考のツールであるブロックを使ったり、図をかいて一対一対応の線を引いたり、式で表したりと、問題を解決していきま

ブロックも使えるね



私は〇〇だと思います



説明の仕方(順序を明確にして説明する)

はじめに、あめが9こありました。**つぎに**、子供は6人いました。線でつなぐと、3つあまります。**(根拠) だから**、違いは3つです。

した。自分の「考える道具」を使い、自分の考えを説明しました。たど

たどしい場面もありましたが、自分の考えを説明することができました。根拠を明確にして説明する方法を学んでいる子供たちは、「思考・判断・表現」の力も高まると思いました。本校が目指す、「**自分の根拠を説明できる**」授業です。算数は計算技能や数量的な理解だけを学んでいるわけではないのです。1年生の成長を感じます。

算数…3年生 グラフの読み取り

棒グラフの読み取りの学習です。メモリを読み取ることは、なかなか難しいのです。また、日本の子供たちは「グラフ、表」などの読み取りの力が弱いと言われてきました。今回は保健室の来室者数のグラフを読み取る学習です。

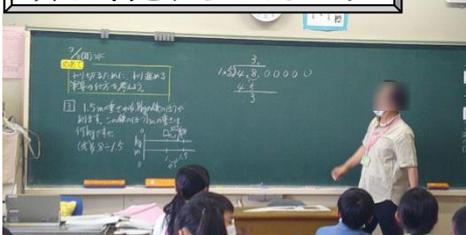
今までのグラフと何が違うのか、考えました。本校が目指す、**既習の内容を定着させる**学習です。「今までは大きい順にグラフを並べていたけど、今回の場合は曜日ごとに並べると分かりやすい」とまとめました。

今までのグラフと何が違う



算数…5年生 小数のわり算

次は、何をおろせばよい！



わり算の難しさは手順の多さにあります。かけ算のひっ算は「かける→たす」という2パターンの繰り返しでした。しかしわり算は、「立てる（見積もる）→かける→ひく→おろす→立てる（見積もる）…」と手順が多いのです。

4.8÷1.5の計算方法を考えていきました。整数・小数には、書いてはいないけれど、「0」が続いていることを学んでいました。この学習は技能の定着です。

1学期、ありがとうございました

南白小の子供や先生方のがんばりを、2学期も伝えていきたいと思ひます。